あなたの「やってみたい」を応援します!!

ゆめこらぼ通信

第2号
発行
平成21年8月1日
隔月発行

「ゆめこらぼ」は、コラボレーション（協働）によって夢を広げる、夢があふれる空間をめざします

発行　西東京市市民協働推進センター　ゆめこらぼ　〒188-0012　東京都西東京市南町5-6-18　イングビル1階

あっ！　この人と何かしてみたい

「市民活動ネットワーク」が初会合

市民協働推進センター主催の「第１回市民活動ネットワーク懇談会」が７月17日夜、市内のイングビルで開かれ、21団体の代表者と個人など28人が参加しました。

市民活動団体同士が出会い、話し合うことで互いに支え合う関係をつくるのがねらい。鈴木剛センター長のあいさつの後、日本ＮＰＯセンター事務局次長で、地元西東京市では学童や障がい児が楽しく暮らせるための活動に参加する坂口和隆さんが、「協働」をめぐる最近の企業や行政の動向と課題などについてインタビュー形式で話しました。

参加者たちは、ネットワークへの期待や自分の得意分野、西東京市の問題点などのアンケートに回答したうえで、１人ずつ自分たちの活動状況や悩みなどを紹介。

意見交換では「講演にきてもらえないか」「ウェブサイトを携帯電話でもアクセスしやすいシステムに切り替えられるか」と早速、参加者同士のやりとりがあったり、活動場所の確保が難しいという訴えには穴場情報が次々と提供されたりしていました。

次回は９月18日（金）午後７時からイングビルで開き、ＮＰＯ法人アジア植林友好協会の久喜伸晃さんに活動事例と今後のビジョンなどを語ってもらう予定です。

会議後、鈴木センター長に無理やり紙を持たされて記念撮影

東大農場でヒマワリ栽培

▲母子で楽しく苗の間引き作業＝７月２日

腕章を飾る手作り▶ワッペンがかわいい

東大農場でヒマワリを育て、種から油を搾っててんぷらなどにして食べる「ひまわりプロジェクト in 東大農場」が、約30人が参加して６月中旬から行われています。８月13日（木）から27日（木）まで一般公開され、花畑の迷路を楽しんでもらえる予定です。

同プロジェクトは市と東大農場の共同事業で、市民協働推進センターは参加者と農場側との連絡窓口になっています。畑の広さは約1000平方㍍。６月18日に種をまき、カラスの食害から守るためネットで覆いました。参加者たちは「土に触れ、気持ちのいい汗をかいた」「今後のプログラムも楽しみ」などと感想を話してくれました。

10㌢前後に育った苗の間引きを行った７月２日は、参加者の女性が手作りした布製のヒマワリワッペンが全員に配られ、一体感が高まりました。中旬は連日の猛暑のなか、除草や迷路づくりのための苗の間引き作業にみんなで汗を流しました。

「企業の力でまちを元気に!」

第１回企業懇談会に７社

第1回企業懇談会（市民協働推進センター主催）が7月 24日、田無公民館で開かれました。金融、保険、飲食業、アニメ制作やエコロジーに配慮した画用紙などの紙製品を製造販売する企業など市内7社から参加していただきました＝**写真右**＝。

当日は、多摩信用金庫価値創造事業部副部長の長島剛さんをお招きし、近隣市の状況についてお話をしていただき、企業としてできることについて、集まったみんなで考えました。

多摩･武蔵野検定や八王子での「ビジネスお助け隊」など近隣市の地域活性化策を紹介いただきました。浜松地域の酒屋でしか買えないポテトチップスを、はるか遠くから買いにくる客が多いという話は注目を集めていました。

参加者が意見交換する中では、地域通貨や地産地消の朝市など「地域を元気にするために具体的にできることを話し合っていきませんか？」との方向性が出てきました。

今後、「西東京市を元気にしたい」「市内で問題となっていることの解決に貢献したい」と考える企業のみなさんに定期的に集まってもらい、地域の課題を解決できないだろうか、と考えています。次回は秋ごろの開催を予定しています。企業の皆さんで、ご賛同いただける方がいらっしゃいましたら、お気軽にお声掛けください。

＜８月のイベント＞

◆**子育てママのトークサロン「ママだからできることがある」**
子育て中の野菜ソムリエや子育て支援をしている先輩ママをゲストに。
・7日（金）午前 10 時～正午、ゆめこらぼ

◆**市民シンポジウム「市民活動で人生は変わるか！？」**
青少年の居場所づくりと取り組む「アラ還」男性と女性ラジオパーソナリティーが語る。無料
・14日㈮ 午後2時～3時30分、アスタ2階センターコート
・参加予約は電話、ファクス、メールで
・FM 西東京で8月 22 日（土）午後4時から放送予定

＜９月の予定＞

◇**トークサロン**～市民活動について気軽に話してみよう～
東大農場･演習林の存続を願う会の代表をゲストに。
・10 日（木）午後 7 時～８時 30 分、ゆめこらぼ

協働の現場

女性史を編さんする

ＮＰＯ法人　生活企画ジェフリー　×
西東京市生活文化課

「名もない女性の生活史を聞き、孫たちに伝えていきたい」

「女が果たした役割を正当に評価してもらいたい」

ＮＰＯ法人生活企画ジェフリー（渡辺美恵理事長）が6月から始めた「女性史編さん講座」の第1回講座＝**写真**＝で、女性史研究家の講義を聞いた参加者たちは意欲的な感想を語ります。聞き取り相手探しなどの下準備に奔走してきた渡辺さんは「諸先輩の話に涙を流しそうになり、逆に励まされもしました」と話し、一緒に女性史づくりの目標に向かおうと呼びかけました。

女性史づくりは「女性史編さんでひらく男女平等のまちづくり－暮らしから社会を変える」という3カ年計画の事業の大きな柱。1事業につき年間 20 万円の補助金が出る市のＮＰＯ等企画提案事業に生活企画ジェフリーが応募し、採用されました。

講座には定員（20 人）を超える 27 人が申し込み、関心の高さがうかがえます。講師の折井美耶子さんは「地域の女性史づくりにＮＰＯ法人が取り組むのは珍しい。市が応援するのも良い形です」とエールをおくりました。

全4回の講座で、女性史編さんの意義や戦後の女性の歩みを確認しながら、実践に役立つ聞き書きのコツなどを学びました。

受講生の多くは「西東京市の女性史を編さんする会」のメンバーとして、早くも 20 人からの聞き取りや年表づくりを進めています。

冊子は来年度の完成を目指しており、市民に無料配布される予定です。そして3年目には「女性史研究会」を立ち上げ、継続的活動として聞き取りや資料収集を進めていくことにしています。

こんな相談　あんな相談

モンゴル出身の馬頭琴奏者
セーンジャーさん（33）

■西東京で国際交流

モンゴル出身の馬頭琴奏者セーンジャーさん（33）が、国際交流を進める「かけはしの会」の白井智子さんのご紹介で当センターを訪れました。馬頭琴は馬の頭部の彫刻を配したモンゴル伝統の2弦楽器。2人は 2008 年秋に総持寺本堂で箏（そう）とのコラボコンサートを開いた時からの縁だそうです。今後も西東京市でモンゴル文化の紹介や交流を進めたい考えでした。そこで後日、NPO法人西東京市多文化共生センター（NIMIC）の山辺真理子さんら理事を紹介。その結果、11 月に開かれる西東京市民まつりで楽器演奏の体験会が実現しそうです。また、将来は小中学校での演奏会、モンゴル祭りやゲル（遊牧民族の住居）の組み立てなどもできたらいいね、という話も出て、盛り上がりました。セーンジャーさんとのコラボを希望する方は当センターにご連絡ください。セーンジャーさんのホームページは　http://senjiya.net/

■在宅で地元商店からお買い物

市内在住のNPO法人CEO協議会の会員が、外出困難な高齢者や障がい者が簡単な操作で地元商店から買い物できるシステムを開発し、導入先を探しています。消費者はピンポイント式の光学読み取り装置をチラシなどに当てるだけで商店と直結。商品情報の入力方法も簡単なため障害者雇用も期待できるといいます。西東京市商工会をご紹介したところ、当面は元気な商店街へ直接出向かれるそうです。

■「寺子屋」で教えてもらえませんか

NPO法人の認証を申請中の無料寺子屋「稲門寺子屋西東京」が、塾に通っておらず、家庭教師にも付いていない小中学生を対象に、無報酬で勉強の手伝いをしたり相談に乗ったりしてくれる人（特別会員）を募集しています。地区会館などを利用して学校授業の補習程度の指導（原則週1回）をします。問い合わせは植松さん（080・4125・1038）へ。

■活動再開へ情報収集

活動を休止していた福祉関係のNPO法人の代表が夫婦で当センターを訪れました。センターから郵便物が送られてきたのをきっかけに、活動再開のヒントを得られればとのことでした。市内の同種の分野のNPO法人のパンフレットを渡して活動を紹介し、センターが仲介した方が良い場合は連絡をいただくこととしました。

みんなの本棚

広報力が地域を変える！

電通プロジェクト・プロデュース局
ソーシャルプロジェクト室＜編＞

重要性がますます高まる広報。対話型広報の大切さが謳（うた）われている。なかでも、電通が関わって富山市の商工会議所の地域ブランド向上に取り組んだ事例「富山市価値創造プロジェクト」が感動的。

私は大きく分けて3つのことをこの本から学んだ。

①地域の価値に気づくこと（再認識）②メッセージは1つに絞り込め③運動型広報でマスに伝える（「運動型広報」についてはどうぞ本を手に取って読んでください）。団体の広報担当者にも、そうでない人にも気づきがいっぱいの１冊。

（鈴木　剛）

☆☆助成金情報☆☆

◆浄土宗　【対象】共生・地域文化と取り組むNPOやボランティア団体【助成金額】総額150万円【応募期間】表彰・助成部門8月 7 日まで、アイデア・企画部門9月 11 日まで【問い合わせ先】特定非営利活動法人きょうとNPOセンター（電話 075・353・6292、ファクス 075・353・7689）

◆こころを育む総合フォーラム全国運動事務局　【対象】子供たちの“こころを育む活動”に携わる個人および団体【助成金額】全国大賞1団体 100 万円、ブロック大賞1ブロック 30 万円【応募期間】9月 30 日まで【問い合わせ先】上記事務局（電話 03・5521・6100、ファクス 03・5521・6200）

◆特定非営利活動法人ユニフェム日本国内委員会【対象】途上国の女性のエンパワーメントとジェンダー平等を目的とする活動【助成金額】1件 50 万円まで、2件以内【応募期間】8月 25 日まで【問い合わせ先】上記事務局（電話・ファクス 045・869・6787）

◆日本女性学習財団　【対象】女性たちが社会・地域・家庭の中で葛藤や障壁を乗り越えてきた過程をジェンダーの視点で振り返り、女性の教育・学習の歩みとしてまとめた実践・研究リポート（個人およびグループ。性別・国籍は問わない）【助成金額】入選1編 20 万円【応募期間】9月 30 日まで【問い合わせ先】上記財団（電話 03・3434・7575、ファクス 03・3434・8082）

○団体登録しませんか？

西東京市市民協働推進センターは登録団体を募集しています。登録はとっても簡単。一度お問い合わせください。これから活動を始めようという方には、会則の見本などをお見せして、団体立ち上げの支援をします。登録団体同士の情報交換・ネットワーキングのお手伝いもします。

□**登録すると**　・メールボックスが使えます！（無料。郵便物の受取先にできます）・サロンコーナーと印刷機の予約ができます！

□**資格**　市内で市民活動をしている団体、またはこれから始めたい団体（構成員２人以上）。事務局が市内にあるか、主な活動場所が市内にある団体

□**必要なもの**　①団体規約または会則②会員名簿

□**申請書**　所定の用紙に代表者の名前、住所、活動内容などを記入

こんなとき、お役に立ちます

☆自分たちの活動をＰＲしてメンバーを増やす
☆退職して今度は地域で役立ちたい
☆市民活動をしてみたい。何から始めよう？
☆他の団体とつながりたい
☆ＮＰＯってなに？
☆行政と協働したい

印　刷　機	製版代	1製版につき35円
	ｲﾝｸ代	100枚につき10円
	※印刷用紙はお持ち込み下さい	
コピー機	1枚10円	
メールボックス	無料	
サロンコーナー	無料	
ラミネーター	無料（フィルムはお持ち込み）	
紙折り機	無料	

登録いただいた団体（7月末現在）＝受け付け順

▼ぱんびの会（知的障がい児・者の遊び、集団、経験をサポート）▼ＮＰＯ法人西東京市多文化共生センター（市民の国際理解を深め外国人を支援）▼女声合唱団コールハーモニー木精（コーラス技術の向上と親ぼく、地域貢献）▼きらっとシニア倶楽部（シニア向け地域情報紙の発行）▼ウインズパストラーレ（多摩6都の音楽交流と演奏技術の向上、地域貢献）▼西東京自然を見つめる会（自然と親しみ自然環境の保護活動）▼ＮＰＯ法人西東京花の会（公共用地に花苗を植え継続管理）▼まちかど保健室（子育て、学習、就学児童、ニート、高齢者を支援）▼西東京レッジョ教育を広める会（イタリア・レッジョエミリア市で行われている幼児教育の普及、子ども文化・芸術活動の支援）▼西東京菜の花エコ・プロジェクト（菜の花を資源とし観光・環境学習・加工などによるコミュニティーづくり）▼西東京子育てコム（妊娠および子育て中の母親向けイベント開催と情報発信）▼環境まちづくりＮＰＯエコメッセ　エコメッセ西東京（環境に負荷をかけないまちづくり）

センター長コラム

「ゆめ」はコラボで加速する

鈴木　剛

私は、キング牧師の演説「I have a dream」が好きです。

あなたは「夢」はどうしたら実現できると思いますか？

私は「夢は人と一緒にやっているうちに実現するもの」で、ひとりで実現させるのは難しいと思っています（もちろんすべてではありませんが）。努力が欠かせないのは当たり前ですが、夢を応援してくれる共感者がいなければ実現はおぼつかないでしょう。そういう意味で、私は「人とのコラボで夢の実現は加速する」と思っています。

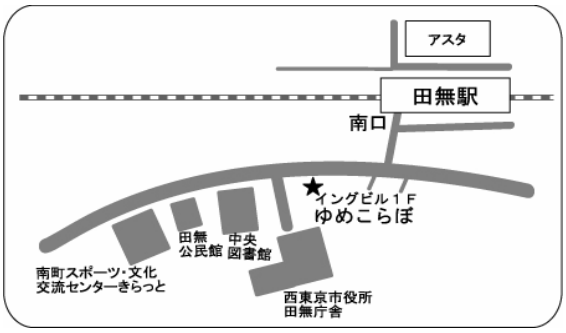
夢を周囲の人に話すと、話しているうちに夢の輪郭がはっきりしてきます。そして、人からの質問に答えているうちに独り善がりから脱却し、洗練されます。次第に周りの人たちが応援してくれたり、「一緒にやらない？」と声がかかるようになったりします。そういうプロセスを経て、夢は現実に近づくと思うのです。

夢を人に話すのを嫌う人もいます。人に話して成功しなかったら立ち直れない、と思い込んでいるのかもしれません。でも、そんなことはありません。何度でもチャレンジすればいいのです。夢をかなえたいなら、まずは人に話してみませんか。もし、ダメになっても大丈夫。心に栄養をあげれば、次の夢が生まれてきます。

《スタッフから》

○…「ひまわりプロジェクト」に参加しました。小雨も上がり、無事に種まきが終了。参加された方々の笑顔と元気に圧倒され、疲れも吹っ飛びました。東大農場の緑に感激！　西東京市民でよかったー！　10 年ぶりに活躍してくれた長靴にも感謝（捨てられない世代なので）の1日でした。　（加藤）

○…スタッフの出身地をみると、東京生まれと東京から北の人ばかり。スタッフ 6 人中、西東京市在住は 5 人、私だけが東村山市在住です。両市の情報を少しずつつないでいけたらと思っています。これからの協働事業は、地域を越えた広い市民のつながりも増えていくことになると思います。　（金子）



開館日：水～月（10時～21時）土・日・祝日オープン
休館日：火曜日・年末年始
〒188-0012　西東京市南町 5-6-18　イングビル1階
西東京市市民協働推進センター　ゆめこらぼ
Tel: 042-497-6950　　FAX: 042-497-6951
E-mail: yumecollabo@ktd.biglobe.ne.jp
URL: http://nishitokyo.genki365.net/